

JENESYS2022 日インドネシア「学生交流」の記録（オンライン招へい） （グループ1：日本の文化・技術、グループ2：社会・文化）

1. 概要

【目的】インドネシアの高校生及び大学生が、日本の伝統文化や科学技術、ものづくり、ポップカルチャーなど幅広い分野をテーマとした視察、体験を通じて日本への理解を深め、将来、両国の架け橋となる人材を発掘・育成することを目的として、本プログラムを実施しました。

【参加者】計 81 名

グループ1「日本の文化・技術」交流：インドネシアパプア州の高校生 計 35 名

グループ2「社会・文化」交流：インドネシアで発信力のある高校生 計 16 名

【訪問地】事前学習：千葉県、オンラインプログラム：愛知県

【日程】

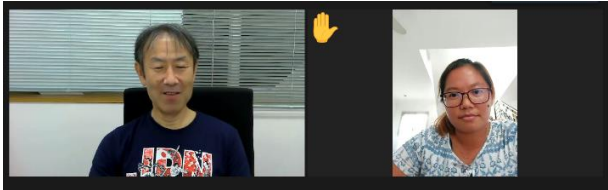
日にち 訪問地	内容	参加者の質問・反応
事前学習		
2022 年 9 月 29 日 千葉県	（注）他のプログラムと合同で実施 【オリエンテーション】【講義・質疑応答】 ① 挨拶 在インドネシア日本国大使館 広報 文化部二等書記官 磯村 真太郎氏 オリエンテーション、JENESYS 概要 ② 日本理解講義 「日本の魅力」 講師：千葉大学国際未来教育基幹 教授 織田雄一氏 ③ 質疑応答	日本の文化、社会、政治、教育と多岐にわたる知識を学ぶ講義を、参加者は集中して聴講していました。特にクールジャパンの話の際は、カメラの前でリアクションをとる参加者もあり、日本の魅力に魅入られている様子が伺えました。質疑応答では、多くの参加者から手が挙がり、質問を希望していました。「日本のような規律正しい社会にするために若い世代は何をすればよいか」「奨学金や留学生の窓口について」「ムスリムフレンドリーな街づくりが、日本全国で行われるようになるのはいつ頃か」など、多岐にわたる質問があり、参加者の関心の高さがや熱意が伝わる活気あるプログラムでした。
訪日前迄 の個別学 習	【動画視聴】（グループ1、2） ① 外務省挨拶 ② 事前オリエンテーション ③ ホームビジット体験	プログラムへの理解を深めるため、参加者は、日本やプログラムに関する動画を視聴しました。

	④ 日本文化理解（京都） ⑤ 愛知の魅力～産業、最先端技術～ ⑥ 広島ピースツアー ⑦ 日本語学習	
オンラインプログラム		
1日目 2023年 2月8日	【オリエンテーション】 ① 概要・プログラム説明 ② 質疑応答 ③ 愛知県紹介動画	参加者は、通信環境が悪い状況の中、プログラムの目的、内容等の説明を理解し、これから始まるプログラムに期待している様子でした。
2日目 2023年 2月9日 愛知県	【講義】 名古屋市 ① 名古屋クイズ ② 講義 「名古屋市について（観光 PR 情報）」 講師：名古屋市観光文化交流局観光交流部 桑山 実里氏 ③ 質疑応答	写真を多く入れたスライドと理解しやすい講義で、参加者は、名古屋市の特徴を理解した様子でした。4日目に予定している「大須商店街バーチャルツアー」の予備知識にもなり、名古屋の食や大須観音を知ることを楽しみにしていました。質疑応答では、「愛知県で収穫できる果物は何か」や「有名なスイーツは何か」等、食に関する質問がありました。
3日目 2023年 2月10日 愛知県	【学校交流】 中京大学 ① 挨拶 ② 中京大学学生によるプレゼンテーション 学校紹介／地域紹介／日本文化 ③ グループ別交流 ④ まとめ、感想発表 ⑤ 参加者グループ交流	グループ別交流では、参加者が現地の手工芸品を画面越しに紹介し、日本の大学生も興味深く見ていました。参加者から、「日本の大学生はどのようなところでアルバイトをしているか」など学生の生活に関する質問がありました。日本のアニメはインドネシアでも人気が高く、アニメに関する話題等で活発な交流が行われました。パプア州の通信環境により、ビデオをオンにした交流が困難な場面もありましたが、チャット機能を活用し、最後までコミュニケーションを図る努力をしていました。

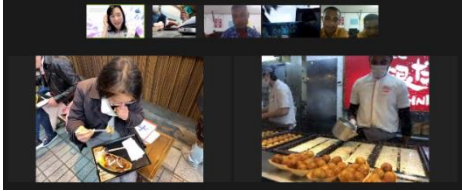
4 日目 2023 年 2 月 11 日 愛知県	【視察】 大須商店街 ① 開会 ② 名古屋市と大須商店街概要説明 ③ 大須商店街バーチャルツアー ④ 閉会	現地からの生中継で大変臨場感があり、参加者は興味深く視聴していました。Zoomのチャット機能を活用し、中継中に感じたことや質問を受け付け、現地から回答するなど双方向にコミュニケーションを取りながらのツアーを通して、現地を実際に訪問している感覚を味わいました。参加者の中には、視察前に名古屋市について調べ知識を共有している人もいました。インドネシア製品を売っている小売店からの中継時には、販売価格の質問がありました。
5 日目 2023 年 2 月 12 日 愛知県	【文化体験】 書道 ① 書道について ② 体験（グループ別レッスン） 講師：JICE 中部支所 岩井 成美氏 ③ 質疑応答	参加者は、事前に書道道具を現地で用意してからプログラムに参加しました。初めて書道を体験する参加者が多く、熱心に練習し、上手に書いていました。参加者からは「字が上手くなるにはどうしたらよいか」や「講師は書道を始めてから何年経つか」等の質問が寄せられました。
6 日目 2023 年 2 月 14 日	【ワークショップ】 報告会の準備	グループ1は通信環境が悪く接続できず、グループ2は学校行事と日程が重なってしまい参加できなかったため、参加者各自で報告会の準備を進めました。
7 日目 2023 年 2 月 15 日 愛知県	【報告会】 ① グループ発表 ② 講評 ・在インドネシア日本国大使館 広報文化部 二等書記官 磯村 真太郎氏	グループ1は通信環境が悪いながらも、しっかりと発表し、最後には校歌も披露してくれました。 グループ2は、学校行事と重なり出席者は少なかったにも関わらず、事前にプレゼンテーションの準備をして録画した動画を共有するという特徴ある報告会になりました。

2. 記録写真

事前学習（グループ1）

	
8月31日【オリエンテーション】概要説明の様子	8月31日【講義・質疑応答】講義の様子
	
8月31日【講義・質疑応答】質疑応答の様子	8月31日 記念撮影

オンラインプログラム（グループ1、2）

	
2月8日【オリエンテーション】概要説明	2月9日【講義】名古屋市クイズの様子
	
2月10日【学校交流】グループ別交流	2月11日【視察】大須商店街バーチャルツアー
	
2月12日【文化体験】書道	2月15日【報告会】発表の様子

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 高校生

今回は Zoom を通じてのオンラインプログラムでしたが、これまでにない体験や経験をすることができ、非常に印象的でした。

◆ 高校生

先進国である日本の経済や技術が発展している様子を知ることができ素晴らしい経験になりました。

◆ 高校生

プログラムを通して新たな気づきや学びがたくさんあり、私たちパプア州の高校生にとって大変貴重な経験になったと思います。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 講師

講義後の質問が多い上、講義の内容に即した質問だったので、参加者の皆さんがとても熱心に聴講していただいたのを強く感じることができました。ありがとうございました。

◆ 交流校学生

今回の交流で、パプア州の高校生がとても器用に王冠やかごのような手工芸品を披露してください、日本にはないものを感じました。通信環境が良くない中、実際に作ってくれたのを見て目で感じる事が出来ました。元々大学でインドネシアやタイに関する授業を取っていたこともあり、今回の交流をきっかけに、東南アジアに関わる仕事に就きたいという気持ちがより一層強くなりました。

◆ 交流校学生

インドネシアの文化について知見を深めることができました。

◆ 交流校学生

参加者が自国の文化を紹介するために帽子などを持ってきてくれたように、互いの文化を表すものを自分も文化を披露するものを持参したいと思いました。また、日本文化をきちんと説明できるようになろうと思いました。

5. 参加者の対外発信（抜粋）

	
2022 年 9 月 29 日（Facebook） 日本での留学生数が 5 番目に多いのが実はインドネシアでした。ますます日本に行きたくなりました。	2022 年 9 月 29 日（Facebook） 日本文化について勉強ができてとても楽しい時間を過ごせました。

	2023 年 2 月 10 日 (Facebook) 今日は JENESYS オンラインプログラムの 3 日目。日本とインドネシアの国際交流。お陰様で素晴らしいプログラムに参加することができています。
---	--

6. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表（抜粋）

グループ 1（訪問地：愛知県）

日インドネシア交流（日本の文化・技術）



- 私たちが発信したいことは、オンラインプログラムを通じて知った JENESYS プログラムについての情報や、日本の進歩や技術の発展についてです。特に今回のプログラムでは私たちのチームのインターネットが不安定になることが多かったのですが、日本側の安定した途切れることのないネット環境に驚かされました。プログラムを通して学んだことを家族、親戚や学校の友達に、Facebook やインスタグラムなどの SNS を通じて共有します。

グループ 2（訪問地：愛知県）

日インドネシア交流（社会・文化）



- オンラインプログラムを通じて今まで知らなかったような日本の歴史、技術について学ぶことができました。また、日本の学生と交流できたことも貴重な経験となりました。家族・親戚や学校の友達にも、Facebook やインスタグラムなどの SNS を通じてこの体験や、JENESYS についての情報を共有したいと思います。

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）